

Z1000MK-2強化対策済みメインワイヤーハーネス取り付け説明書
 <Parts No. 81-4251>1979~80 KZ1000A3/A4 USモデル・ヘッドライト常時点灯用

この度は、メインワイヤーハーネスのお買上げ誠に有難う御座います。

注意：本製品を取り付けし、ご使用になる前には、必ず本取り扱い説明書と同梱されているコーションラベルをよくお読み下さい。

注意：本製品は、スタンダードのハンドルスイッチ、又はピーエムシーが販売する純正タイプディマースwitchおよびOWタイプハンドルスイッチに対応します。

1；メインハーネスの交換

●メインハーネスの各配線などの接続状態を書き留めた上で車輛からハーネスを取り外し、純正品と同様に本製品を配置して下さい。左サイドカバー部分の配線位置を基準にしますと綺麗に配置できます。

注意：本製品は純正クラッチスイッチに対応しており、クラッチレバーホルダーにクラッチスイッチが装備されていない場合、右ハンドルスイッチの黒コード（オスギボシ）を（メスギボシ）へ付け替える加工が必要となります。この黒コードを、メインハーネスの黒コード（オスギボシ）へ差し込みますと、クラッチ操作を行わずにセルスターターが作動します。

注意：点火システムを変更され、点火コイルの真下にレジスター（外部抵抗）が装備されていない場合
 点火コイル、およびイグナイターの電源コードの接続状態をしっかりと書き留めて配線作業を行って下さい。

2；変換アダプターの取り付け

●付属の変換アダプター（4ピンカプラー×1、9ピン→6ピンカプラー×1）を強化対策済みメインワイヤーハーネスのハンドルスイッチ接続カプラーに接続して下さい。

3；右ハンドルスイッチの配線接続

《スタンダードハンドルスイッチの場合》

●下記の通りに接続して下さい。

メインハーネス側		ハンドルスイッチ側
4ピン変換アダプターの黄コード	⇔	黄／赤ストライプコード(オスギボシ)
クラッチスイッチの黒コード	⇔	黒コード(オスギボシ)
ICイグナイターとレジスターの赤コード	⇔	赤コード(Wメスギボシ)

《OW/ZXハンドルスイッチの場合》

●下記の通りに接続して下さい。

メインハーネス側		OWハンドルスイッチ側
4ピン変換アダプターの黄コード	⇔	黒／赤ストライプコード(オスギボシ)
クラッチスイッチの黒コード	⇔	黒コード(オスギボシ)
ICイグナイターとレジスターの赤コード	⇔	青／白ストライプコード(Wメスギボシ)

4；左ハンドルスイッチの配線接続

《スタンダードハンドルスイッチの場合》

- メインハーネスとハンドルスイッチの6ピンカプラーを接続して下さい。
- メインハーネスの赤／黒ストライプコードは使用しませんので絶縁処理を行って下さい。
- 下記の通りに接続して下さい。

メインハーネス側		ハンドルスイッチ側
黒コード	⇔	クラッチスイッチの黒コード
青コード	⇔	青コード
9ピン変換アダプターの赤コード	⇔	橙／緑ストライプコード
赤／黄ストライプコード	⇔	6ピン変換アダプターの茶コード

《OW/ZXハンドルスイッチの場合》

- メインハーネスとハンドルスイッチの6ピンカプラーを接続して下さい。
- メインハーネスの赤／黒ストライプコードは使用しませんので絶縁処理を行って下さい。
- その他の配線接続はOWハンドルスイッチの説明書の通りに接続して下さい。
- 下記の通りに接続して下さい。

メインハーネス側		ハンドルスイッチ側
黒コード	⇔	クラッチスイッチの黒コード
青コード	⇔	青コード
9ピン変換アダプターの赤コード	⇔	使用しません
赤／黄ストライプコード	⇔	6ピン変換アダプターの茶コード

5；接続しない配線・カプラーについて

- リアブレーキスイッチ付近にある、3ピンカプラー（桃／茶／黒黄色）は使用しません。ビニールテープを巻くなど絶縁処理を施して下さい。
- ヘッドライトケース付近にある2ピンカプラー（緑／灰色）は使用しません。ビニールテープを巻くなど絶縁処理を施して下さい。

6；各部チェック

各機能が正常に作動することを確認し、ハーネスの接続不良や挟み込み等が無いことをご確認下さい。

以上で作業は終了します。

ご不明な点があれば、購入店又は、(株)ピーエムシーまでお問合せ下さい。